

# アニマルランド NEWS

わんぱーくこうちアニマルランド  
№91 Apr 2018



親が育てる  
葉月ココの出産レポート②  
わんぱーく野鳥情報№27 ～カラムクドリ～



- ～2/6 えと展 開催
- 1/2,3、2/11、3/18 裏側探検隊 開催
- 1/12～2/21 鳥インフルエンザ 対応
- 1/23 津波避難訓練 実施
- 1/27,28 ちびっこ雪まつり 開催
- 2/8 ジャガー ハク 一般公開 開始
- 2/28 オオイタサンショウウオ 搬出
- 3/1 災害用ボート 設置
- 3/6 ジャガー ハル 死亡
- 3/15 メガネカイマン 搬出  
ニシアフリカコガタワニ 搬入
- 3/15,17 インドホシガメ フ化 2匹
- 3/17 ネイチャーゲーム 開催
- 3/21 動物園大学⑧ ず～なんよ。参加
- 3/24 わんぱーくこうちまつり 開催(4/8まで)

# 1月から3月



ちびっこ雪まつり

たくさんのちびっこが参加してくれました。



災害用ボート設置

アニマルギャラリー  
屋上に災害作業用  
のボートを設置しま  
した。



津波避難訓練



ジャガー ハクの一般公開開始



オオイタサンショウウオ搬出

種の保存のために飼育しているオオイタサンショウウオを、危険回避のための分散飼育と繁殖の目的で熊本市動植物園に搬出しました。



# のできごと



ニシアフリカコガタワニ



大きな移動檻でやってきました。



動物慰霊碑

ニシアフリカコガタワニが東京都恩賜上野動物園(公益財団法人東京動物園協会)からやってきました。また、開園時より飼育していたメガネカイマンを高知県立のいち動物公園に搬出しました。どちらも繁殖計画のための移動です。



動物園大学

広島市安佐動物公園で開催された動物園大学に園長がパネリストとして参加し、他に口頭発表とポスター発表をおこないました。

ジャガーのハルにたくさんのお花などをいただき、ありがとうございました。アニマルランドでは、年に一度、動物愛護のついでに慰霊祭をおこなっています。

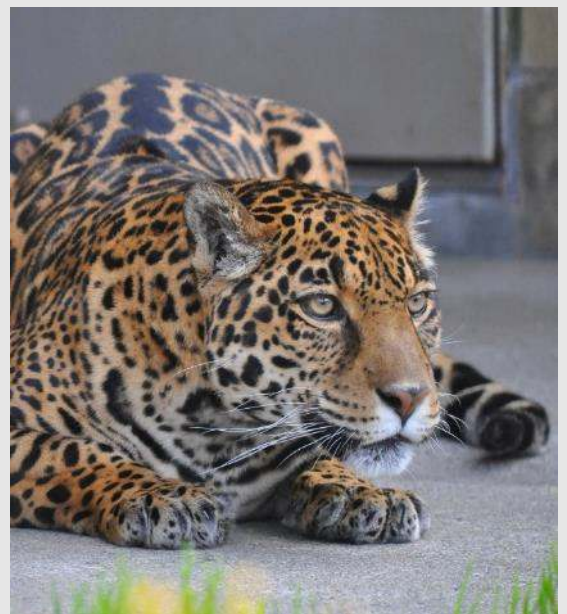


ありし日のハル

## ハル安らかに

右下顎の癌が大きくなりつつも元気食欲はあったのですが、2月のはじめから衰弱がひどくなり入院し治療を行っていた、ジャガーのメス「ハル」が3月6日の夜に永遠の眠りにつきました。

「ハル」は、到津の森公園で1995年5月15日に生まれ人工哺育で育てられ、わんぱくこうちアニマルランドへ2002年3月26日に来園しました。優しい性格で人間が大好きだったため来園者の人気者でしたが、現在国内最高齢22歳の生涯を終えることになりました。ここに「ハル」の冥福をお祈り申し上げます。そして、この場をお借りしまして「ハル」という可憐で優しいジャガーを飼育させていただく機会を与えてくださいました市民の方々に厚くお礼申し上げます、ありがとうございました。(園長 渡部 孝)





# 親が育てる

ニホンカモシカの親子



みなさんはペットショップに行くことがありますか？ペットショップでは子犬や子猫が売られていて、少し大きくなった犬猫は安く売られていたりします。日本では若い犬猫ほどよく売れるので、昔は乳離れもしていない生後30日ほどのものも販売されることがありました。あまりに若いときに親から離され環境が変わると、病気になったり、ひどい場合は死んでしまったりします。また、親や兄弟といることでつちかわれるはずの社会性が育たず、成長したときに人に危害を加えたり激しく鳴き続けるなどの問題行動を起こすことがあります。そういったペットを飼いきれなくなり飼育放棄につながる場合があります。2013年に動物愛護法が改正され生後56日（現在は移行期間で49日）に満たない犬猫の販売が禁止されました。

動物の子どもはなんでもかわいくて、私たち飼育スタッフにも赤ちゃん誕生は喜びの一つです。昨年はアニマルランドで久しぶりに、カモシカやジャガーの赤ちゃんが生まれました。両種とも絶滅に瀕している動物です。無事に生まれてくることを心待ちにすると同時に、生まれてみないとわからない心配事が私たちにはあります。それは、母親が子育てしてくれるかどうかということです。初産だったり、環境が合っていなかったり、いろいろな原因で育児放棄がおこります。カモシカやジャガーは代用になるミルクも判っているので飼育スタッフが育てることはできます。しかし、人が育ててしまうと、その種特有の行動ができなかったり、犬猫と同じように成長したときに問題行動を起こすことがあります。種の保存の場である動物園では、交尾や子育てができないことは困ったことです。今年3月に、22歳で死んだジャガーのハルは人に育てられ交尾ができませんでした。愛らしく、かわいがられたジャガーでしたが、繁殖させられなかったことは残念なことでした。

テレビでは、動物の赤ちゃん特集が組まれることがあります。飼育スタッフの立場からその番組を見ていると、母親が育てている赤ちゃんは安心して見られます。反対に人が育てている赤ちゃんは心配になります。母親のところに戻れたらいいな、できるだけ早く仲間と一緒になれたらいいなと思うのです。動物園で飼育している野生動物は、ペットほど馴れる事は少なく、出産育児も独りでおこないます。私たちは、体重測定など必要のあるときにしか赤ちゃんに触れることはしません。その場合も子供を守ろうとする母親から攻撃されることがあります。ジャガーでは隣の部屋にエサを置いて、母親にはそちらに入ってもらい、母親のいないところで子供の体重測定をしています。ジャガーの赤ちゃんハクも小さくても猛獣です。体重測定はひっかかれたり、咬まれたりしないよう気をつけながらおこなっています。そろそろ、一緒の部屋に入っただけの体重測定は危険なためできなくなります。



ヨーロッパフニャビトの親子



フォクシネザルの親子





人が動物を育てることを人工哺育と呼んでいます。昔は、馴れにくい野生動物を人に馴らすために人工哺育することがありました。動物園でも人工哺育にしたサル類や鳥類をショーに使うことがありましたが、現在ではショーのためや馴らすための人工哺育はほとんどなくなりました。人工哺育にするのは命に危険がある場合など、限定されたときに慎重に検討しておこなっています。

また、チンパンジーやゴリラ、オランウータンなどのヒトに近い類人猿では、やむをえず人工哺育にした子どもを、早期に母親に戻す取り組みが続けられています。離乳できる1歳ほどで母親か代理母の元に戻ることができるようになってきました。昨年、アニマルランドが加盟している日本動物園水族館協会からテレビ出演しているチンパンジーの子どもについてコメントが出されました。「2015年9月に生まれたチンパンジーの子どもを、弱っているように見えたからと母親から離して人が親代わりとなって育て、2016年7月からショーに出演させています。チンパンジーの子供を母親から離して人が育てると、チンパンジーとして生きていくうえで必要なことを母親から学ぶことができません。赤ちゃんが元気を回復したらすみやかに母親に戻るのがチンパンジーを飼育する基本です。人に刷り込まれたチンパンジーの未来は明るくありません。」というものです。

「動物の赤ちゃんを抱っこしたい、飼ってみたい」といった欲求は不必要な人工哺育を招くことがあります。犬猫小鳥などのペットでさえ早期に親から離すことは問題行動につながる場合があります。野生動物ではもっと深刻です。絶滅の危機に瀕していて取引が規制されている動物がペットにされるために密輸されているのです。アニマルギャラリーを入ったところにカワウソの首をつかんでぶら下げられているポスターがあります。「税関は野生生物のミカタです。」と大きく、「税関職員によって救出されたコツメカワウソ」と小さく書かれています。野生動物をペットにしようとする場合は、適正な手順をふんで正規に販売されているものかよく調べてから入手してください。

ジャガーのハクが生まれて「赤ちゃんを抱っこできますか？」との問い合わせがありました。ハクは母親のココが一生懸命育てています。だから抱っこできません。でも、残念がらないでください。母親が育てているからこそ、ジャガーらしいジャガーに育て、次の子孫を残すことができるでしょう。ジャガーがこの世からいなくならないためにも、とても素晴らしいことだと思いませんか？ (久川智恵美)



チンパンジーの親子  
独り立ちするのに10年以上かかります。



ジャガーの親子  
独り立ちするのに2年ほどかかる  
といわれています。



アカツクシガモの親子



アフリカタテガミヤマアラシの親子



壮絶な初産を乗り越えたジャガー

# 葉月ココの 出産レポート②

・名前の由来

のぞき窓から



昨年12月6日(水)に誕生したジャガーの赤ちゃんは『ハク』と命名しました。

生後65日目の2018年2月8日(木)より一般公開をはじめました。毎日たくさんの来園者がジャガー舎展示場前に訪れては、あたたかい声援を送ってくださっています。

今回、赤ちゃんの命名は、元ジャガー担当の山本飼育スタッフにお願いしました。

『ハク』という名前の由来は、本来、野生のジャガーが数多く見られる南米大陸のブラジルにちなんでいます。ブラジルを漢字一文字で表すと「伯」になるそうです。ブラジルを代表するどうぶつが「ジャガー」ですから、ホントぴったりなステキな名前をつけてくれました。ミシンや高級車が有名なように、より一層、どうぶつの「jaguar・ジャガー」も世界中に知れ渡ってほしいぜよと思っています。

◆成長記録 一体重一

☆生後4日目の体重は1180g、例えるとモルモットぐらいです！そして離乳期に入った生後90日目の2018年3月5日(月)時点では、なんと8520gにまですくすく成長しています。

◆ジャガーとは

南北アメリカ大陸で頂点に君臨する動物が「ジャガー」です。特にパンタナール湿原周辺の各国、ブラジル、ボリビア、パラグアイ、ペルーなどに数多く生息します。またその地域の神として昔から崇められています。ただその反面、ウシなど家畜を襲ったり、また毛皮や牙、爪目的など密猟が後を絶たず、1980年代半ば以降、個体数が30%まで激減しました。最近では、この優美な姿を求め、世界中から外国人が訪れるため、「ジャガー専用観光船」があるなど重要な観光資源となり回復傾向にあります。ヒョウに似ていますが体格はさらに大きく、模様、生息地など違いがあります。

ちなみに寿命は野生下でおよそ12歳、飼育下ではおよそ20年です。

現在、国際自然保護連合(IUCN)のレッドリストでは、生息地が点々と分散し生息地の分断により絶滅のおそれのある生物として「準絶滅危惧種」に指定されています。

◆日本国内飼育園館は8園館、わずか13頭のみでアニマルランドは国内最多の飼育数です。現在、ルモ10歳♂、葉月ココ3歳♀、国内最年少ハク0歳♂の計3頭を飼育管理しています。今回の出産記録を参考に、ますます国内のジャガー界繁栄のため繁殖をめざしたいと思います。

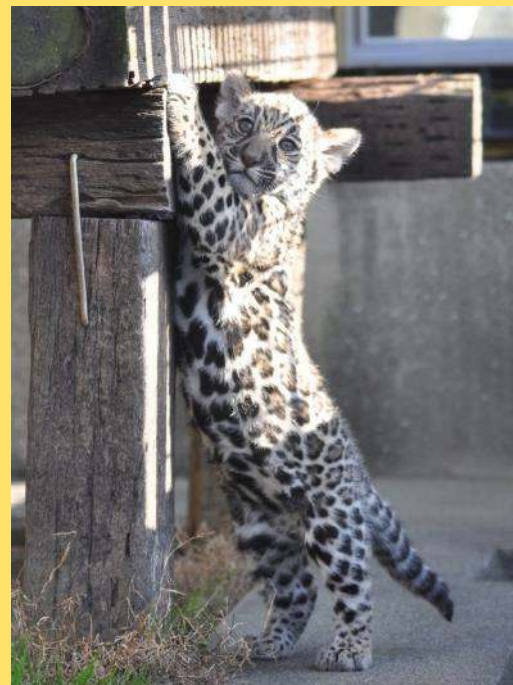
つづく (吉川貴臣)



水入れにすっぽり



爪ときの練習？







クスノキにとまるペア  
手前が♂

# わんぱく野鳥情報

No.27

～カラムクドリ～

カラムクドリは、スズメ目ムクドリ科に属し、中国南部・インドシナ半島北部で繁殖し、日本にはまれに旅鳥として渡来し、九州南部から沖縄地方で少数が確認される程度とされています。全長約19cmで全体が灰白色、嘴と脚は青灰色で目は青白色。雄では羽色に変化があり黄白色や褐色をおびるものがあり、風切羽と尾羽が緑色光沢のある黒色で、雨覆と肩羽は白色。雌も雄に似ているが、大雨覆は黒で中雨覆が白色のため雄よりも白斑が小さいです。

この鳥を、初めて見つけたのはわんぱくこうち全体の避難訓練の日でした。訓練が終わり取材対応のため猛獣舎前に移動している時に、白っぽいムクドリ2羽がトラ展示場横の桜の木にとまっているのに気が付きました。すぐにもカメラを取りに事務所に戻りたかったのですが、インタビューがありましたので取材終了後に確認すると、もう姿はありませんでした。そして、午後5時ごろに他の職員が管理ヤード裏側の枯れ木に6羽のカラムクドリがとまっているのを見つけました。自分も急いで駆けつけ、何とか2羽を撮影することが出来ました。この鳥の目は青白色のためファインダーでのぞくと少し怖い顔に見えますが、そのことが「滅多にお目にかかれない鳥」という印象をさらに強くしているように感じました。

自分が確認した期間は、1月23日～27日までの5日間でした。この間は、旅の途中で栄養を蓄えるために必死という感じで、思わぬ近距離で遭遇することもありました。フラミンゴの池に流れ込む水の出ている岩の上やクマ展示場の人止め柵の手すりにとまっていることもあったのです。また、この時期に私たち人間はムシに出会うことは滅多にないのですが、シラカシの葉裏に潜むカメムシを捕食したり、地面に降りてムシを捜す姿を確認することができました。中には、ペアで行動している姿もあり、夕日を浴びて仲良くクスノキの茂みに埋もれるように並んでいるカップルもありました。鳴声について、自分は一回も聴くことが出来ませんでした。

高知県で初確認というわけではありませんが、「四国の野鳥」という本の中で「四国では極めて稀」と記述されています。今回、複数の個体が数日に渡ってわんぱく周辺で観察された理由は定かではありませんが、動物たちのエサ用に園内の木の葉や枝を利用することから、樹木の消毒などを最低限にしています。その事が、鳥たちのエサとなるムシなどを豊富な状態にしているからではないでしょうか。皆さんも、飼育動物だけでなく周りの木に止まっている野鳥にも関心をもって見てみると、時には珍しい鳥にお目にかかれるかもしれません。

(渡部 孝)



♀  
肩の部分の白が少ない



クスノキの実を採食♂  
肩の部分の白斑が大きい



カメムシを捕食♂

# あにまるきゃっち★ No.23

ワオキツネザルに夢中のご家族をキャッチ★



左から

川上 <sup>かな</sup>佳菜さん  
<sup>ゆうき</sup>友季ちゃん(5さい)  
<sup>なつき</sup>夏輝くん(1さい)  
<sup>てんか</sup>天愛ちゃん(9さい)  
<sup>なつみ</sup>夏実さん  
<sup>ちかこ</sup>知夏子ちゃん(1さい)

いとこ同士のご家族が南国市と宿毛市からご来園です。わんぱくこうちで待ち合わせしてくださったそうです。ワオキツネザルを楽しそうに見てくださったのでカメラが吸い寄せられました(笑)

## 4月から6月のイベントとお知らせ

4月8日(日)まで 開催  
わんぱくこうちまつり  
1日(日)はイベントもりだくさん♪

4月15日(日) 14:30～  
5月3日(木・祝)～6日(日)13:30～  
6月3日(日) 14:30～  
裏側探検隊 各日先着20名  
参加者全員にアニマルランドカードプレゼント♪

日・祝 14:30～  
(裏側探検隊のある日曜日は前日の土曜日に変更)  
ワンポイントガイド  
動物の解説を飼育スタッフがおこないます

4月4日(水)  
※臨時開園

**カブトムシの 第21回 飼い方教室**

日時：平成30年4月29日(日)  
受付場所：アニマルランド入り口案内所前にて  
午前9:00より整理券を配布します

人数：先着150名様  
対象：12才以下  
参加費：無料

※9:10・9:40・10:10  
の3回に分けて行います  
※整理券を受け取った方は  
各開始時間までにレストラン横の  
学習展示室にお集まりください

わんぱくこうちアニマルランド  
高知市棧橋通6-9-1 TEL: 088-0189

参加者全員に幼虫をプレゼント♪

### 動物たちのエサの時間

キツネザル	毎日 10:00～
リクガメ	毎日 10:30～
チンパンジー	毎日 13:30～
フラミンゴ	毎日 14:00～

※ 動物の体調により中止になる場合があります

表紙「ジャガーの親子」

2018年4月1日発行  
発行・わんぱくこうちアニマルランド  
〒780-8010 高知市棧橋通6-9-1  
TEL088-832-0189 FAX088-834-0929  
Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp  
編集 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>  
アニマルランドニュース 1, 4, 7, 10月の年4回発行  
ホームページでも配信中

わんぱくこうちアニマルランド 検索